



グローバルビジネスコース（GBC）レポート

令和3年3月創刊号

ごあいさつ

平素よりGBCおよびGBC留学生に対して温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、本コースに心を寄せてくださっているみなさまに留学生の現況や活躍ぶりお伝えしたく、「GBCレポート」を発行することにいたしました。本来なら留学生や関係教職員がみなさまひとりひとりのもとに赴き、ご支援に対する御礼を申し上げるとともに、留学生へのご助言をちょうだいし、留学生の日本での学生生活や将来の希望についてお話を聞いていただく機会をもつべきところ、終息がみえない新型コロナ禍のなかで、このような形を選択するに至ったことをご寛恕いただけると幸いです。

さてGBCは初年度の留学生40名に加え、今年度は国際的な人の移動もままならない状況のなかで、30名の留学生を新規に受け入れることができました。国境の閉鎖が繰り返され、昨春休みに祖国に帰った留学生が日本に戻ってくることができなくなったり、また2期生となる留学生の入国ビザ取得が大幅に遅れたり、留学生ほぼ全員の元気な姿が揃うのは年明けまで待たねばなりませんでした。

留学生はその間、時差やネット環境に苦しみながらもオンライン授業や試験を受け、大学での学びを深めるとともに、SNSなどを通して留学生同士や日本人学生と友人関係を築き、国際学生寮（Global House）で直接に顔を合わせておしゃべりする機会を心待ちにしてきました。また閑空への直行便が少なく、あちこちを経由して入国できたとしても、2週間の自主隔離期間を過ごさなければなりませんでした。

厳しい社会情勢のなかで、GBC留学生が直面している経済的困難については、みなさまから寄せられたご寄付や公的な支援策のおかげで、これまで勉学を続けることを断念する者がひとりも出ていないことを、感謝の気持ちとともにお伝えしたいと思います。また欧米に負けない、グローバルスタンダードな教育をめざすGBCの先駆的取り組みが評価され、文科省の「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されて、本コースの優秀な留学生8名に対し、国費留学生として大きな経済的支援が与えられるようになったことも、あわせてご報告させていただきます。ちなみにこのプログラムに採択されたのは東大や京大など有力10大学にすぎず、公立大学では唯一、本学が選ばれました。

社会全体を覆い尽くすが暗雲の下で、みなさまにおかれましてもご苦労、ご心労は絶えないことと拝察されますが、未来に橋を架ける留学生のかけがえのない青春の一コマが豊かで、多彩で、実り多いものになるよう、私たちも懸命に努力を重ねる所存ですので、引き続き温かいご支援を賜り、留学生の成長を見守っていただけると幸甚です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆さま方のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

兵庫県立大学理事兼副学長 高坂 誠 (Makoto KOSAKA)

GBC留学生の概要

| 国・地域 | 2019年9月入学 | | | 2020年9月入学 | | |
|---------|-----------|------|----|-----------|------|----|
| | 在籍者数 | 男女構成 | | 在籍者数 | 男女構成 | |
| | | 男性 | 女性 | | 男性 | 女性 |
| バングラデシュ | 2 | 2 | | | | |
| ブータン | 1 | 1 | | | | |
| 中国 | 1 | | 1 | 2 | 1 | 1 |
| インド | 1 | | 1 | 1 | 1 | |
| インドネシア | 7 | 2 | 5 | 6 | 3 | 3 |
| マレーシア | | | | 3 | | 3 |
| パキスタン | | | | 2 | 2 | |
| フィリピン | | | | 1 | 1 | |
| ルーマニア | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| タイ | 14 | 7 | 7 | 4 | 1 | 3 |
| トルコ | 1 | 1 | | | | |
| ベトナム | 6 | 4 | 2 | 5 | 3 | 2 |
| ザンビア | | | | 1 | 1 | |
| 台湾 | 5 | 1 | 4 | 4 | 1 | 3 |
| 計 | 40 | 19 | 21 | 30 | 15 | 15 |

GBC学生の動向

1 留学生の授業に関して

- ・前期と後期：全て英語でマクロ経済学、経営学、簿記など一週間22コマ程度の授業を受講
- ・集中講義：「日本文化体験」

GBC留学生が、日本文化の体験を通じ、日本の地域社会への関心と造詣を深めることで、大学を卒業し社会へ出た後も、世界に兵庫の文化や魅力を発信できるよう、参加体験型学習を実施しています。



日本文化体験授業での現地調査

2 GBC留学生1年次生の生活

・授業時間

授業の多くは10～25名程度の小規模で実施されています。特にゼミでは4グループに分かれ、課題について学生同士で話し合います。ゼミでは、教科書を中心にしてプレゼンテーションやディスカッションなど、多角的に英語に触れ、様々な課題に取り組んでいます。GBC留学生の国籍は多様ですので、様々な英語の発音とイントネーションを聞くことができます。

・メンターシッププログラム

初めて日本で生活を始めるに当たり、留学生は生活習慣や言葉などの様々な困難に直面しています。そのため、新たなGBC留学生が大学生活をスムーズに送れるように、2020年10月から2021年2月までGBC上級生の日本人と留学生がGBC新入留学生全員に対する学習上の助言や、大学生活への適応に関する助言ができる「メンター制度」を設けて支援を行いました。これは、コロナ禍における大学としての取組の一つとして実施したものです。

3 新型コロナ感染症感染拡大防止と GBC 留学生来日

2020 年度は留学生の来日に際し、国の要請による空港への出迎えや、入寮前の PCR 検査受検など、様々な手続きで支援が必要となりました。また来日後は、国の要請により 2 週間の自主隔離が求められていたため、オンラインで講義が円滑に受講できるように Wi-Fi を提供するとともに、隔離中の食事提供等の生活支援が行われました。



GBC 留学生（新入生）の来日、入寮

4 2019 年度入学の留学生の生活状況

2 年次生となった 2019 年度入学の留学生のうち、11 名がレジデント・アシスタント (RA)* となり、1 年次生の先輩として円滑な寮生活支援のため活躍しています。RA ではない留学生は、新型コロナ感染症感染拡大の影響で再来日に時間を要したものの、順次退寮しています。

国際学生寮退去後の住居状況は以下のとおりです。

| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-----------------------|----|----|----|
| 国際学生寮 (RA として残寮) | 5 | 6 | 11 |
| 木下寮 (木下財団所有の留学生用の寮) | 1 | 0 | 1 |
| 県営住宅 (兵庫県住宅管理課の協力による) | 7 | 5 | 12 |
| 民間アパート | 6 | 8 | 14 |
| 兵庫国際交流会館 (JASSO 運営) | 0 | 2 | 2 |
| 計 | 19 | 21 | 40 |

「レジデント・アシスタント (RA)」とは・・・

GBC2 年生で構成。寮内の交流プログラムの企画・運営をはじめ、日常的に勉学、生活上の指導などの支援を行っている。

RA の主な業務内容

- ・ 隔離されている留学生の対応
- ・ 入退寮、通訳支援
- ・ 新入生の指導
- ・ GLOBAL HOUSE CLEAN-UP DAY 実施



引っ越しの手伝い



Cleanup Day (Instagram 記事)

5 グローバルビジネスコース留学生支援基金「スタートアップ奨学金」の給付式の開催

企業の皆様からのご寄附を原資としたグローバルビジネスコース留学生支援基金を活用して、昨年度に引き続き、GBC 留学生 1 年次生を対象に「スタートアップ奨学金」(一時金として 1 人当たり 10 万円)の給付式を開催しました。今年度はコロナ感染症の影響で留学生の来日時期が一律ではなかったため、数回に分けて給付式を行うこととなりました。

第 1 回給付式では、太田学長から給付決定通知書及びご寄附企業のご芳名一覧を代表学生に交付するとともに、同奨学金の給付の趣旨を訓示されました(第 2 回給付式は高坂副学長から交付)。

開催概要

| | 開催日 | 出席者数 | 備考 |
|-------|----------------------|------|------------------|
| 第 1 回 | 2020 年 11 月 16 日 (月) | 9 名 | |
| 第 2 回 | 2020 年 12 月 25 日 (金) | 15 名 | |
| 第 3 回 | 2021 年 3 月中 | 6 名 | 留学生 (1 名) の新規入国後 |



第 1 回給付式
(於：本部棟大会議室)



第 2 回給付式
(於：国際交流センター)

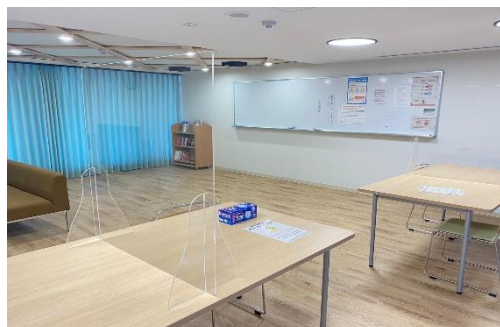
6 国際学生寮における COVID-19 感染防止対策

2021 年に入り、日本全国、そして兵庫県内でも新型コロナウイルス感染者数が増加しています。そのため、国際学生寮の中でも更なる感染予防対策を講じています。2020 年 12 月の RA ミーティングの開催後は、RA たちが積極的に寮生に声をかけていった甲斐もあって、寮内でも必ずマスクを着用するという意識が高まりました。

また、更なる感染防止対策として、各階エレベータ前の消毒液設置や、各階共有スペースにあるテーブルへの飛沫感染防止のためのアクリルパーティション設置を行いました。

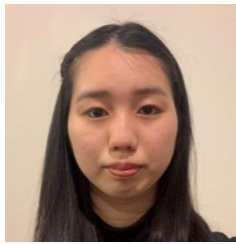


12 月に行われた RA ミーティング
(新型コロナウイルス感染予防対策)



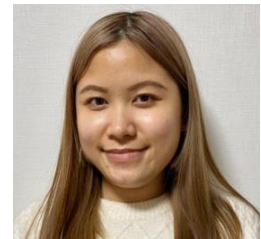
共有スペースの感染防止対策

6 GBC 学生の声



「この寮生活で、不安なことは沢山ありましたが、同室の友達と、言語の壁があってもこんなにも仲良くなれたのは、ここでの生活があったからとしか言えないと思います。後輩たちにも、ことばがうまく通じないのではないかと不安になるばかりではなく、同じような経験を重ねて、ここで生活してきて良かったと、退寮の日に思えるような日々を過ごして欲しいです」坂本さん、日本出身（2年生）

「12月中旬までに多くの新しい留学生が日本に到着しました。新1年生には、新たにマレーシア、フィリピン、ザンビアなどの国々から来た留学生がいます。異なる文化、背景を持つ新しい友達ができることを、とても楽しみにしています」Cherryさん、インドネシア出身（2年生）



「新型コロナウイルスに脅かされ続けた2020年が終わり、新しい一年が開けました。緊急事態宣言が再度発令されましたが、一刻も早い日常の回復を誰もが期待しています。私も2021年は明るい話題で国際学生寮内が埋め尽くされ、寮生がより笑顔に包まれる年になるように祈っています。」吉村さん、日本出身（2年生）

「14日間の寮待機期間中、大学からの様々なサポートがありました。毎日、何を食べるかを心配する必要はありませんでした。もし、自分でご飯を作りたいと思ったら、学校に相談し、RAや寮生に助けを求められました。」Jayさん、台湾出身（2年生）



★★

GBC プロモーションビデオ近日公開！



GBCでは、学生の協力を得て、2021年のGBCプロモーションビデオを新たに制作中です。GBCの広報媒体はInstagramやFacebookなどのWebページのように、文章や画像が中心となっていましたが、2021年度の新たな動画が近日中に公開されます。

GBC学生の日常的生活、キャンパスと授業の雰囲気をお伝えできる内容になっていますので、ぜひ一度ご覧いただければと思います。



撮影風景

★★

編集後記

このたび、GBCレポートの編集を担当することになりました客員教員のタイ出身・ヨットモーンと、シリア出身・ヤヒヤです。

国際学生寮に住み込み、寮生の指導を行いながら、GBCの講義も受け持っています。



ヨットモーン



ヤヒヤ

作成：国際学生寮 Global House レジデント・アシスタント (RA) 一同
編集：ヨットモーン、ヤヒヤ